

Canon

キヤノントツキ株式会社

会 社 案 内

CORPORATE PROFILE



より豊かな社会のために、 最先端技術を、もっと身近に。もっと 快適に。

キヤノントッキは、最先端の有機ELディスプレイや電子デバイスを生産する、
真空技術を応用した先進的な製造装置の開発・製造・販売・サポートを行っています。
私たちの製品は、先端エレクトロニクス産業のものづくりを進化させ、豊かで持続可能な社会を支えていきます。

| 業界スタンダードとして世界をリードする 高い技術レベルと確かな信頼性

スマートフォンやテレビなどへの普及が進んでいる有機ELディスプレイ。その将来性に注目し、世界でいち早く製造装置を開発したキヤノントッキ。その後、技術革新と改良を重ね、量産技術を確立。長年にわたり、最先端の有機ELディスプレイを搭載したお客様の次世代製品のリリースと、商業生産に寄与してきました。

高い生産性と高品質を誇る量産装置は、その実績により高い技術レベルと確かな信頼性が評価され、いまや業界のスタンダードといえる圧倒的な地位を確立し、世界をリードしています。

“人の和”と“独自の技術”で社会に貢献する

キヤノントッキ株式会社

代表取締役社長兼 COO
伊藤 博之

キヤノントッキの「トッキ」は“特機”、すなわち「特別な機械」を意味します。

当社は1967年の創業以来、常に変化する時代に挑戦し、社名に由来する「特別な機械」を提供してまいりました。現在は、真空技術を基盤とした製造装置において、お客様の声に真摯に向き合い、寄り添い、目的を達成し、ご要望以上の「特別な価値」を提供しています。

お陰様で、スマートフォンやテレビで急速に採用が進んでいる有機ELディスプレイ製造の分野において、確固たる地位を築くことができました。また、当社はキヤノングループの掲げる「共生」の企業理念のもと、社員とそのご家族はもとより、パートナー会社やお客様を含む、全ての人々と共に生きてまいります。

“人の和”と“独自の技術”で課題を解決し、事業を通じて成長し、ひいては社会に貢献する。そんな会社を目指していきます。皆様の温かいご理解と、ご支援をお願い申し上げます。



企業理念

私たちは、キヤノングループの企業理念である「共生」、および行動指針である「三自(自発・自治・自覚)の精神のもと、以下を当社の企業理念といたします。

企業使命

優れた先進・独自技術で“特別な価値”を継続的に提供し、
より豊かな社会の実現に貢献します

当社の企業使命は、社名に象徴される創業精神を基本としています。キヤノントッキの「トッキ」は“特機”、すなわち「特別な機械」を意味します。当社は創業以来、常に変化する時代に挑戦し、お客様にとっての“特別な価値”を追求し、生産現場の生産性向上に寄与する先進的で高度な独自技術を付加した生産システムやサービス等の「特別な価値」を提供することで、産業の発展を通じ、より豊かな社会の実現を目指してまいりました。今後もキヤノングループ企業として、コンプライアンスを重視し、常に高い倫理観をもって企業使命の実現に努め、引き続きより豊かな社会の実現に貢献すると共に、企業および全社員の永続なる成長と繁栄をはかってまいります。

ビジョン

産業機器分野のリーディングカンパニー
～最も信頼・支持されるベストパートナーとしてあり続ける～

私たちは常に世界中のお客様に喜ばれる革新的な高付加価値製品を、世界最高の技術と品質、
そして万全のサービス体制と共に提供し、お客様をはじめ当社を支える全ての人々から
最も信頼・支持されるベストパートナーとして、共に新しい価値を創造し、持続的成長をはかる
“産業機器分野のリーディングカンパニー”を目指します。

価値観・行動指針

1 積極進取

私たちは、常に変化する時代に挑戦し、
積極的に課題と取り組みます

- 私たちは常に変化する時代を先取りし、未知なる課題や困難に、情熱と勇気をもって積極果敢に挑戦します。
- 私たちは時代と共に自らを“変革”し、更なる発展に向かって“進化”を続けます。

2 創意革新

私たちは、常に新しいアイデアを持ち、
仕事に対して開拓と革新の意識で向上します

- 私たちは“技術追求”的精神で、自らの役割における技術・技能の弛まぬ練磨に努めます。
- 私たちは常に新しい発想と、開拓と革新の意識をもって仕事の質的向上をはかります。

3 誠実努力

私たちは、常に高い倫理観を持ち、
仕事に対して誠実に取り組み、自己啓発に努力します

- 私たちは企業としての品格を重視し、常に“高い倫理観”と良識をもって、公明正大に行動します。
- 私たちは仕事に対して誠実に取り組み、当社に関わる全ての人々との信頼関係を築きます。
- 私たちは自己啓発を通じて自らの人格と能力を高めることに努め、自己の成長をはかります。

4 親和発展

私たちは、和の心を持ち、常に英知を結集し、
社業の限りない発展と豊かな生活を築くよう努力します

- 私たちは“人間尊重”的精神をもち、個人の尊厳と異なる価値観を尊重します。
 - 私たちは“和の心”を持って常に英知を結集し、チームワークと総合力を発揮します。
 - 私たちは社業を限りなく発展させ、物心共に豊かな生活および人生を築くよう努力します。
- *和の心:互いに相手を尊敬し、協力し合う「親和」や「調和」などの「和」の心を意味する

Leading the Future with Technology

私たちは技術で未来を切り拓きます



国内のインダストリアルグループ各社



キヤノンアネルバ株式会社
神奈川県川崎市



キヤノン株式会社（光学機器事業本部）
栃木県宇都宮市



キヤノントッキ株式会社
新潟県見附市



キヤノンマシナリー株式会社
滋賀県草津市



キヤノンセミコンダクターエquipment株式会社
茨城県稻敷郡阿見町

| キヤノンインダストリアルグループとは

キヤノンにはプリントイング、イメージング、メディカル、インダストリアルの4つの産業別グループがあります。インダストリアルグループは、キヤノンの産業機器ビジネスを担う超精密技術のプロフェッショナル集団です。キヤノントッキは、インダストリアルグループの一員としてキヤノン（光学機器事業本部）、キヤノンアネルバ、キヤノンマシナリー、キヤノンセミコンダクターエquipmentの国内関係会社を含む合計15の会社や部門とともに、革新的な産業機器でお客様と新たな価値を共創してまいります。

| ものづくりを進化させ、人と地球の未来を支える

私たちインダストリアルグループは、最先端のテクノロジーを産業機器ソリューションとして提供しています。ものづくりに携わる世界中のお客様が、私たちの産業機器を使い、地球環境や人類社会にとって持続可能な形でより高機能・高性能な、あるいは全く新しい価値を持つ製品やサービスを生み出します。それは人類のものづくりが進化することに他なりません。そんなワクワクする未来の社会を、私たちは実現します。

有機EL製造装置

有機ELディスプレイを量産するための製造装置です。有機ELディスプレイを製造する際には、有機薄膜が劣化しないように真空中で処理し、かつ大気に触れることなく接着・封止させる必要があります。さまざまな工程の重要パラメータを一括管理し、かつすべての工程を自動化することで、高い生産性を確立しています。また、有機太陽電池製造装置にも応用できます。



■ 有機ELディスプレイ量産装置 System-ELVESS

大量生産向けに開発された装置です。有機材料と陰極金属材料の蒸着成膜技術や、精密ロボット技術による全自動封止技術、フルカラーの画素製作に欠かせない高精度アライメント技術など、当社創業以来の技術を融合し、世界トップシェアを握る全自動量産システムです。

紹介動画はコチラ



量産用装置「System-ELVESS」は、クラスタ中央の真空ロボットが蒸着室や封止室にガラス基板を順次搬送しながら、フルカラー有機ELパネルを完成させる全自動システムです。

真空関連装置

30年以上にわたる真空技術と装置ノウハウを活かして、さまざまな真空技術応用装置を製造・販売しています。光学部品向け蒸着装置、電子部品向け蒸着装置、スパッタリング装置など、使用目的に応じたラインナップを揃えています。

■ 真空蒸着装置

生産現場においては定期的なメンテナンスや基盤交換の容易さ、研究室においては蒸着パラメーターの変更のしやすさなど、使いやすさを追求しました。



■ スパッタリング装置

水晶デバイスやチップ抵抗など、小型化する電子部品の量産に最適なスパッタリング装置です。



■ 熱処理関連装置

クリーンな真空排気系を持ち、温度安定性・温度分布に優れた熱処理装置です。推奨デバイスや各種電子デバイスの生産に用いられます。



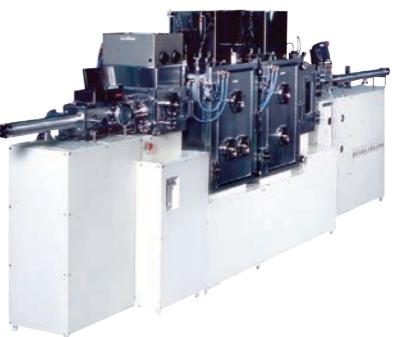
■ 有機ELディスプレイ小中量生産装置 Small-ELVESS

有機ELディスプレイの基礎的な研究開発や少量生産に最適な装置です。O2プラズマ洗浄から成膜・封止まで、すべての工程を一台で処理するため、大気に触れることなく高性能な有機ELデバイスが製作できます。また、再現性の高い研究試作により、量産移行までのパネル開発が効率よく行えます。



■ 有機ELディスプレイ試作実験装置 Try-ELVESS

有機ELの研究開発や材料開発に最適な装置です。O2プラズマ洗浄室、有機発光層蒸着室、金属電極蒸着室、封止室等をコンパクトに一体化。蒸着成膜から封止まで、大気に触れることなく高品位な有機ELデバイスが試作できます。有機ELデバイスの基礎開発を効率よく行えます。



技術の強み

高度な真空技術と、
高速・高精度で搬送する
ファクトリー
オートメーション技術



有機ELの量産製造工程

右の図は、フレキシブル有機ELパネルを真空蒸着方式で製作する工程の一例です。量産製造工程は、主にTFT回路をつくる「前工程」と、主に有機材料を成膜する「蒸着工程」、そして封止、切断、配線接続などの「後工程」の3つの工程に分かれています。

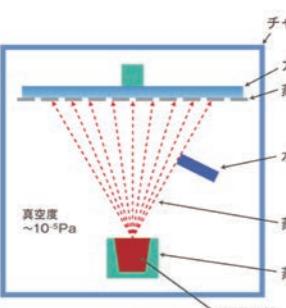
「蒸着工程」でガラス基板に発光層を付着させますが、高精細かつ高品質のパネルを製作するためには、様々な技術が必要となります。



主な技術として、①内部が非常にクリーンで高真空な環境の真空容器を製作する技術、②ガラス基板を高速・高精度で搬送するFA(ファクトリーオートメーション)技術、③発光層がガラス基板に付着する位置を高精度で制御する成膜・アライメント技術などが挙げられます。これらの全てにおいて、当社には長年の装置開発による技術ノウハウの蓄積があります。そして、パネル量産装置を安定して提供してきた豊富な実績も有しています。

成膜技術

チャンバ内を10-5Pa程の高真空状態にして、有機材料を蒸発源に充填し300°C程度に加熱し蒸発させます。蒸発源から噴出した蒸発粒子は、直進性を保ったまま他の粒子にほぼ衝突せずにガラス基板に付着します。蒸発する粒子の速度(蒸着率)は水晶モニタで検出し、一定になるよう制御し、所定の膜厚になったら蒸着を終了します。



RGBの発光色を得るには、ホスト材料に数%程度の微量な色素材料をドーピング(添加)します。これは2種類の有機材料を同時に蒸着させ、基板上で混合膜を形成するもので、共蒸着と呼ばれています。

そして最後に金属電極膜を形成します。この時用いられるのは銀やアルミニウムなどで、蒸発温度は有機材料と違い1,000°C以上の高温になります。

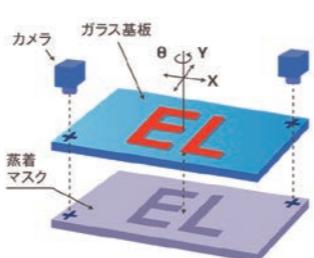
アライメント技術

有機ELの蒸着プロセスは「蒸着と同時にRGBのパターンニングを行う」ことが特徴的です。

有機材料は成膜後にエッティングでパターンニングができるため、蒸着しながら

蒸着マスクを用いてパターンニングします。その際、蒸着マスクとガラス基板との高精度な位置合わせを行う「アライメント」の技術が必要になります。アライメントは、蒸着マスクとガラス基板の位置情報をカメラで取得したのち、その両者の位置関係を高精度に制御して行います。

近年、スマートフォンやテレビは高精細化が進み、4Kや8Kの画質に進化していくために、当社はアライメント技術で貢献しています。



サービス

装置メンテナンス・保守部品販売

お客様の装置を長期間安定的にご使用頂くために、装置の点検からパーツ・ユニット交換、ポンプやユニットなど予防メンテナンスを提案いたします。

これにより装置の故障を未然に防ぎ、性能維持、安定稼働に貢献します。

装置改造サポート

ご納入済みの装置を末永くご活用して頂くために、古くなった機器を最新の機器へのリニューアルや機能の追加アップグレードなど、お客様のニーズや予算に合わせた改造プランをご提案します。

研究開発

当社の研究開発は、ビジョンにあるとおり「常に世界中のお客様に喜ばれる革新的な高付加価値製品を、世界最高の技術と品質そして万全のサービス体制と共に提供すること」を基本方針としております。変化の激しいエレクトロニクス業界において、常にお客様に喜ばれる製品・技術開発を重視し、日々研究開発に取り組んでおります。

品質管理

品質方針

世界一の技術・品質・サービスを継続的に追求・提供し、「顧客感動」を創造します。

管理体制

製品およびサービスに対して常に最新の法規制・業者指針などに対応し、品質マネジメントシステムを活用するとともに継続的に改善することにより品質向上に取り組んでいます。



福利厚生

社員の皆さんの働きやすい職場環境とプライベートの充実に向けた、さまざまな制度をご用意しています。

休日

年間休日123日(土日祝日)。※年に数回土曜日出勤あり)、年末年始、ゴールデンウイーク、夏季



休暇

年次有給休暇は、入社翌年以降、年間20日と、法定を上回り付与されます。半日単位でも取得可能です。なお、付与された休暇が2年後も残っている場合は、時間単位休暇として最大5日間(30分単位で使用可能)、傷病積立休暇として最大35日間積み立てられます。

他に、フリーパカンス休暇(土日含め9連休)、リフレッシュ休暇(勤続5年経過ごとに、勤続年数に応じて3~10日間の休暇及び金一封が支給)を設けています。



各種保険

健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険



財産形成

退職一時金、確定拠出年金(マッチング拠出にも対応)、従業員持株会(キヤノン株式会社の株式購入)



結婚・出産

産前産後休暇終了後、子どもが3歳になる前日まで取得できます。育児休業取得率は、女性社員は100%、男性社員は平均40%ほどです。



職場環境

社員食堂があり、様々なメニューを低価格で提供しています。

また、休憩、食事、打ち合わせ、集中したり気分を変えて仕事をしたいときに利用可能なフリースペースを備えています。



寮・社宅制度

見附市内に社員向けの寮を完備しています。また、転勤などの理由で社宅が必要な方に対しては借上社宅制度があります。



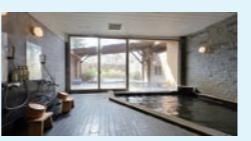
通信教育制度

所定の通信教育講座(約160講座)を受講した場合、会社からの援助金として、受講料の半額を支給します(上限あり)。



保養所

社員とその家族が保養のためにキヤノングループの保養所を利用できます。



ベネフィット・ステーション

e-Learning、レジャー、グルメ、ショッピング、スポーツ、旅行、健康など、幅広い分野のサービスを割引価格で利用できます。



地域社会への取り組み

社会とともに発展していくために、キヤノントッキは地域社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。



「見附刈谷田川ハーフマラソン大会」への協賛・ボランティア参加

見附市が主催する地域清掃活動に参加し、本社/見附事業所周辺の清掃を行っています。



「見附まつり 花火大会」への協賛・メッセージ花火の打ち上げ



地域活性化のため、「見附まつり 花火大会」への協賛と併せ、当社の社名とメッセージが読み上げられる「メッセージ花火」を打ち上げています。



「街並み花いっぱい運動」に参加

見附市の掲げる「不法投棄されない景観づくりと地域のイメージアップを図る」という活動に賛同し、近隣の企業と共に植栽活動に参加しています。



「わくわく体験塾」の実施

見附市が主催する、子どもたちの創造力や探求心を育み職業への理解や働くことへの喜びを学ぶことで、将来の夢の幅を広げるような体験を提供する「わくわく体験塾」の活動に賛同し、小学生を受け入れ会社見学とCAD操作体験講座を行っています。



見附今町・長岡中之島 大凧合戦に協賛

毎年6月に刈谷田川堤防上で行われる、360年以上の歴史を持つ伝統行事に協賛しています。武者絵や美人画などの描かれた大凧の大きさは畳8枚分。毎年制作し、普段はエントランスに飾っていますが、本番では大空を舞い、地域の祭りを盛り上げます。

他の活動

見附市主催「通学路への防犯カメラ設置のためのクラウドファンディング」への賛同・寄付

子どものための多目的施設「プレイラボみつけ」オープニングイベントでの撮影体験会実施

見附市への絵本寄贈

平塚市内の小中学校へ寄贈する「地域のお仕事ガイドブックDX」制作への協賛

事業所



国内拠点

■本社／見附事業所

〒954-0076 新潟県見附市新幸町10番1号
TEL:0258-61-5050(大代表)

■平塚事業所

〒254-0012 神奈川県平塚市大神三丁目7番1号
TEL:0463-53-8880

海外グループ会社拠点

■韓国 Canon Semiconductor Engineering Korea Inc.

W Tower 7F , 49 Dosijiwon 1-gil, Godeok-myeon, Pyeongtaek-si, Gyeonggi-do
TEL:+82-31-616-2020

■中国 キヤノン光学設備(上海)有限公司

中華人民共和国上海市静安区汶水路210号静安新業坊5番ビル南ビル3F/4F
TEL +86-21-2316-3200

■台湾 キヤノン半導体設備股份有限公司

新竹市東區埔頂里埔頂路25號9樓之1
TEL:+886-3-579-7080

本社／見附事業所 〒954-0076 新潟県見附市新幸町10番1号

TEL:0258-61-5050

平塚事業所 〒254-0012 神奈川県平塚市大神三丁目7番1号

TEL:0463-53-8880

<https://tokki.canon/>



会社概要

[会社概要]

社名 キヤノントッキ株式会社
(Canon Tokki Corporation)
設立 1967年7月29日
親会社 キヤノン株式会社
資本金 6,572百万円
決算期 12月
従業員数 550名 (2024年12月31日現在)

[沿革]

1967年7月

『津上特機株式会社』を東京都港区新橋に資本金100万円で創立。
工作機械、自動化機械の販売を開始。

1972年7月

『株式会社長岡プレシジョン』を新潟県長岡市に設立。
FAシステム、周辺機器、治工具の設計・製作を開始。

1982年4月

『津上ロボティックス株式会社』を神奈川県横浜市に設立。

1983年7月

真空成膜装置メーカーの『株式会社ユーピーアル』に資本参加。
真空薄膜の新分野に進出。

1986年1月

津上特機・長岡プレシジョン・津上ロボティックス・ユーピーアルの関連4社を
統合して、商号を『トッキ株式会社』に名称変更。新会社として発足。

2003年4月

『見附工場』を新潟県見附市の新潟県中部産業団地に新築完成。

2007年12月

キヤノン株式会社との資本業務提携により、キヤノングループの一員となる。

2010年10月

株式交換によりキヤノン株式会社の完全子会社となる。

2012年1月

キヤノントッキ株式会社に名称を変更。